

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】

婦人科がん死亡症例に関する詳細調査

—終末期における化学療法継続性の可否を判断する根拠の確立を目指して—（JGOG9002S）

【目的】

婦人科がんのみならず全てのがん種において、治癒不可能な進行、再発、再燃する症例が存在します。それらの症例は、がんによる症状を緩和する、あるいは延命目的に抗がん剤や放射線治療、外科手術などが行われることもあります。しかしこのような症例に、いつまで抗がん剤をはじめとする積極的な介入を行うのかについては明らかになっていません。このような状況から、研究責任者らは2014年に、NPO法人である婦人科腫瘍の緩和医療を考える会の調査を行い、抗がん剤治療後短期間で死亡した症例も少なからず存在していることがわかりました。このことは、抗がん剤をいつまで行うべきかという判断が困難であると同時に、いつまで抗がん剤を含めた積極的治療をすべきなのかという検討が必要と思われ、本臨床研究を計画しました。

【対象】

2012年1月から2014年12月までに死亡された婦人科がんの方

【方法】

診療記録から情報を収集し、オンライン上の電子データシステムに入力します。入力された情報は本研究関係機関で解析を行い、学会発表や論文として公表されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は匿名化するため、氏名などの特定の個人を識別できるような情報が外部に漏れることはありません。

【利用する試料・情報】

診療記録（初発時年齢、疾患名、初回治療情報、初回再発時の情報、再発時の治療内容、特に緩和ケアの介入、生存期間 等）

【研究期間】

倫理委員会の承認が得られてから2017年9月30日まで

【研究組織】

特定非営利活動法人 婦人科悪性腫瘍研究機構（JGOG）

JGOG ホームページ <http://www.jgog.gr.jp/>

【研究代表者】

弘前大学 周産母子センター 二神 真行

【当院の研究責任者】

産婦人科 小河原 由貴

【連絡先】

横浜市立市民病院 〒240-8555 横浜市保土ヶ谷区岡沢町 56

電話 045-331-1961（病院代表） 産婦人科 小河原 由貴

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。

また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。